

令和5年度 いでは文化記念館運営協議会

令和6年3月27日（水）9時30分～

於：いでは文化記念館

〈 次 第 〉

1. 開 会
2. 役員選任
3. 会長挨拶
4. 報 告
 - (1) 令和5年度事業実施状況について
 - (2) 設備等改修工事について
 - (3) 運営に関する調査状況について
5. 協 議
 - (1) 令和6年度事業計画（案）について
 - (2) その他
6. 閉 会

いでは文化記念館運営協議会委員名簿（案）

（任期：R5. 4. 1～R7. 3. 31）

NO.	役職	氏 名	所 属 等	推薦根拠
1		粕谷 典史	宿坊組合（組合長）	文化（宿坊）
2		阿部 良一	出羽三山神社（宮司）	文化（神社）
3		長南 慈恵	羽黒山正善院（副住職）	文化（寺院）
4		神林 只男	手向地区自治振興会（副会長）	地域連携
5		工藤 重美	ル・ジャルダンフェーリック /月山佛生池小屋	商工業
6		國井 儀昭	前いでは館長（手向区長会長）	地域連携
7		今野 新一	鶴岡市教育委員会（学校教育 課長）	教育

（敬称略）

事務局（令和5年度）

	氏 名	所 属 等	備 考
1	上林 喜博	羽黒庁舎産業建設課課長	
2	金内 房夫	羽黒庁舎産業建設課課長補佐	
3	宮本 新也	羽黒庁舎産業建設課専門員	

指定管理者（羽黒町観光協会 平成28年4月1日から）

	氏 名	所 属 等	備 考
1	吉住 弘幸	いでは文化記念館 館長（羽黒町観光協会事務 局長）	
2	富樫あずさ	いでは文化記念館 学芸員	

令和5年度 いでは文化記念館事業 実施状況について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染対策による規制の緩和が全国的に行われ、昨年度よりも大幅な集客となった。大々的なイベントはできなかったが、一年を通して小規模イベントを複数に分けて開催することで、さまざまな事業を行うことができた。今年度は月山卯年御縁年を記念した展示「月山の記憶―信仰と登拝の道―」を開催したほか、鶴岡の画家・三浦恒祺氏の羽黒町・月山の作品展示「三山を描く三浦恒祺―羽黒・月山展―」を開催し、前年に引き続きこれまで当館に来たことがない層にも当館を認知していただくきっかけ作りを行い、HP や SNS の活用や展示や企画の工夫など、実際に足を運びたいと思っていただけるような情報発信を行った。

1. 企画展示

(1)「第23回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：令和5年4月15日(土)～6月19日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品合計35点を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信した。

今回は審査員の藤森武先生のアドバイスを参考に、撮影者のコメントもキャプションに掲載したところ、入場者からは好評の声をいただいた。

展示入館者数：1, 469名

(2)「月山の記憶―信仰と登拝の道―」

展示期間：令和5年6月24日(土)～11月20日(月)

展示内容：令和5年度が月山の卯歳御縁年であることを記念し、月山にまつわる信仰について歴史資料から辿る企画展。阿弥陀・祖霊信仰、月山の女人禁制解除や登山と参拝に関する資料等を展示した。連携事業で庄内の博物館等施設で行うミュージアムスタンプラリーにも参加。

月山に祀られていた十三仏や、女人講中の絵馬パネルが入場者に好評だった。また、観光協会と正善院共同企画の「御戸開」では、副住職による展示案内も開催した。

展示入館者数：2, 819名

(3)「三山を描く三浦恒祺―羽黒・月山展―」

展示期間：令和5年12月2日(土)～令和6年4月8日(月)

展示内容：羽黒地域の歴史的な家屋や月山の風景を描いている鶴岡の画家・三浦恒祺氏の作品を展示。12月18日(月)～1月7日(日)はいでは文化記念館の大規模改修工事に伴い、一時休止した。1月8日(月)より再開。

令和6年4月7日(月)にはレクチャーホールにて、三浦恒祺氏の娘である滝沢佳奈子氏、中野浩司氏によるミニコンサートも開催予定。

展示入館者数：368名 ※3月20日現在

2. 関連イベント

(1) 羽黒町観光協会・羽黒山荒澤寺正善院共同企画

『御戸開』

- 日時／10月1日(日)～14日(土) 9:00～12:00 ※火曜を除く
- 場所／いでは文化記念館 レクチャーホール
- 担当／長南弘道氏 (羽黒山荒澤寺正善院副住職)
- 目的／月山卯年御縁年を記念して、なかなか見ることができない羽黒山荒澤寺の地藏堂や峰中堂を特別に開放した「御戸開」において、実際の現地見学の前に副住職によるレクチャーや「月山の記憶—信仰と登拝の道—」の展示解説をしていただくことにより、より月山をはじめとした出羽三山について知ってもらう。参加者からは事前知識が得られてよかったなどの声が上がっていた。
- 総参加人数／104名

(2) 企画展記念イベント

『いでは文化記念館ギャラリートーク』

- 日時／7月23日(日)、8月27日(日)、9月24日(日)、10月29日(日)
- 場所／いでは文化記念館 展示室 13:30～14:30
- 目的／企画展開催を記念し、出羽三山の歴史や文化、羽黒修験について、当館の学芸員がわかりやすく解説を行った。
- 参加人数／7月：6名、8月：4名、9月：1名、11月：3名

(3) 企画展記念イベント

『いでは文化記念館企画展ドキドキ！クイズラリー』

- 期間：企画展「月山の記憶—信仰と登拝の道—」開催中
- 場所／いでは文化記念館 展示室
- 目的／企画展開催期間中、企画展テーマに関連した問題を5問出題し、正解者にはオリジナルグッズをプレゼントしている例年人気のクイズラリー。解答用紙は企画展のアンケートも兼ねており、来館者の率直な意見を聞くことができ、運営の参考としている。 参加総数／91名

(4) 企画展記念イベント

『企画展記念ミニコンサート』 ※開催予定

- 日時／令和6年4月7日(日) 13:30～15:00
- 場所／いでは文化記念館 レクチャーホール
- 奏者／滝沢佳奈子氏、中野浩司氏
- 目的／いでは文化記念館企画展「三山を描く三浦恒祺—羽黒・月山展—」開催を記念して、三浦恒祺氏の娘であるピアニストの滝沢佳奈氏とパーカッション担当の中野浩司氏によるミニコンサート。三浦恒祺氏の絵画をイメージしたオリジナル楽曲「月山」含め数曲演奏予定。

(5)企画展記念イベント

『いではわくわくワークショップ・月山和紙でミニぼんぼりを作ろう!』

○日時／10月7日(土) 13:30~16:00

○場所／いでは文化記念館 レクチャールーム

○講師／せいのみゆみ氏(月山和紙アーティスト)

○目的／小学生とその保護者を対象に、企画展「月山の記憶—信仰と登拝の道—」を記念して、月山の麓の西川町で生まれ月山の水で作られた月山和紙を使い、ミニぼんぼりを作成するワークショップ。

講師のアドバイスを受けながらそれぞれ思い思いの和紙や飾りをぼんぼりに貼り付けており、親子で楽しむ様子が見られた。

参加総数 12名

3.「羽黒山歴史探訪～月山編～」※出羽三山神社との共催

月山卯年御縁年を記念し、出羽三山神社と共催。月山で生まれたとされる刀の歴史にスポットを当て、その魅力を探った。

(1)「鍛刀場伝説を生む月山鍛冶小屋敷跡を訪ねる」

○講師／渡部 幸氏(出羽三山歴史博物館学芸員)

○日程／7月29日(土) 7:30~16:30

○目的／『おくのほそ道』でよく知られる「月山刀」。その刀工の伝説が月山の鍛冶小屋にある。今回は月山卯歳御縁年を記念して、月山に登拝し、小屋跡の前にある鍛冶小屋敷稲荷神社を訪ねる。

○コース／いでは文化記念館出発→(マイクロバス移動)→月山8合目→(登山)→月山山頂→昼食(月山山頂小屋にて)→鍛冶小屋→(下山)→月山8合目→(マイクロバス移動)→いでは文化記念館着・解散

参加総数 12名

(2)「月山鍛冶発祥の地河北町谷地周辺を巡る」

○講師／鈴木 聖雄 氏(元舞草刀研究会副会長)

○日程／8月26日(土) 8:00~17:00

○目的／月山卯歳御縁年を記念して、月山刀の発祥の地であり、かつて作刀活動が盛んだった河北町・谷地を訪ねる。月山刀鍛冶の一人・月山貞吉のルーツや月山刀にまつわる神社や史跡を巡る。

○コース／いでは文化記念館出発→誓願寺にて講話→昼食(生そば吾妻屋)→谷地周辺(若宮八幡神社・鍛冶屋敷跡・月山貞吉生家跡・清龍寺・谷地八幡宮・和田酒造)見学→いでは文化記念館着・解散

参加総数 10名

▼羽黒山歴史探訪①（7月29日開催）



▼羽黒山歴史探訪②（8月26日開催）



4. 出羽三山歴史講座『出羽三山を学ぶ』

- 目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。
- 講師 岩鼻通明 氏(山形大学名誉教授)
荒木志伸 氏(山形大学教授)
原淳一郎 氏(米沢女子短期大学教授)
渡辺 幸 氏(出羽三山歴史博物館学芸員)
- 会場 いでは文化記念館 1階レクチャーホール
- 日時 6月～10月まで 毎月木曜日（※初回は6月8日）
※8月は実地研修
- 主題 即身仏・松尾芭蕉・出羽三山石造物・湯殿山信仰・月山登拝物語
- 回数 全5回

平成18年度より実施していた古文書解読・歴史講座を、今年度より新しく「出羽三山歴史講座」として、各回研究者・専門家を講師に招き、より深い出羽三山の歴史について学ぶ講座。実施回数を減らし、年間を通しての継続ではなく各回それぞれの講座を開催した。参加者から参加しやすくなったとの声も聞かれた他、20～40代の参加者が増え、全体の参加者も増加した。

※R5年実績 講座回数 全5回、申込者 38名、述べ参加者 190名

添付書類

- *令和5年度
 - ・入館者実績※
 - ・施設利用実績※
 - ・入館料実績※
 - ・企画展クイズラリー統計結果
 - ・古文書講座アンケート結果
 - ・歴史探訪アンケート結果 ※1月現在

令和6年度 いでは文化記念館事業計画（案）について

令和6年度は羽黒山中興の祖である天宥の没後 350 年であるため、天宥の人生に焦点を当てた企画展を開催する予定である。そのほかの主催事業は今年度と同様に小規模イベントを複数に分けて開催する方法で行う予定である。

1. 企画展示

(1) 展示名「第24回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：令和6年4月13日(土)～6月17日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信し誘客の契機を目的とする。

(2) 展示名「天宥から今の羽黒山を知る」(仮題)

展示期間：令和6年6月22日(土)～11月18日(月)

展示内容：令和6年度が羽黒山中興の祖である天宥の没後 350 年であるため、天宥の人生を辿り、羽黒山をより深く知り親しむことを目的とした企画展。羽黒山で天宥が行った施策や天宥自身に関する資料等を展示予定。会期中はギャラリートークも開催する予定。

(3) 展示名「羽黒の書家・岡部陽子展」(仮題)

展示期間：令和6年11月23日(土・祝)～令和7年4月7日(月)

羽黒に在住する書家で、独自の書道「楽書」を生み出し活躍している岡部陽子氏の書道作品展示予定。初めて見る人には新しい書道に触れることで新たな世界を模索し、既に楽書を知っている人には羽黒に興味をもってもらうことが目的。会期中ギャラリートークも開催予定。

2. いでは文化記念館ワークショップ

関連イベント案 ワークショップ

『キャンドルで羽黒山に明かりを灯そう』(仮題)

○講師／打診中

○日時／8月・9月の2回 13:00～15:00 (キャンドルナイト実施日同日開催予定)

○場所／いでは文化記念館レクチャールーム

○目的／国宝羽黒山五重塔ライトアップと同日に、参道に幻想的な明かりを灯すキャンドルナイトに参加できるオリジナルキャンドル制作のワークショップ。令和6年夏頃に五重塔の屋根が新しく葺き替えされ、より多くの人に国宝を見もらう機会となるようにすることが目的。

3. 「羽黒山歴史探訪～羽黒山編～」

いでは文化記念館設置趣旨である「出羽三山文化の学習活動を高め、もって地域文化振興に資する」ため実際に周辺史跡を探訪し、出羽三山の深い歴史を身近なところから知る機会を作り地域の文化財の見直し、次世代への継承、保存意識の啓発を目的とする。

(1) 「龍神伝説の眠る地を巡る」(仮)

- 講師／検討中
- 日程／10月頃を検討
- 目的／令和6年が辰年であることを記念して羽黒にも眠る龍神伝説を探究する。
- コース／

(2) 「天宥ゆかりの地を巡る」(仮)

- 講師／検討中
- 日程／11月上旬を検討
- 目的／没後350年の羽黒山別当天宥のゆかりの地を巡る。
- コース／

4. 出羽三山歴史講座『出羽三山を学ぶ』

- 目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。
- 講師 打診中
- 会場 いでは文化記念館1階レクチャーホール
- 日時 6月～10月まで 毎月木曜日（※初回は6月6日）
※いずれかの回1回は実地研修
- 主題 検討中
- 回数 全5回を予定

—古文書解読・歴史講座参加人数—

実施年度	申込者数	延べ人数
平成18年度（講座回数：全14回）	17名	152名
平成19年度（講座回数：全13回）	35名	254名
平成20年度（講座回数：全12回）	50名	300名
平成21年度（講座回数：全13回）	67名	373名
平成22年度（講座回数：全11回）	53名	293名
平成23年度（講座回数：全12回）	54名	325名
平成24年度（講座回数：全12回）	55名	324名
平成25年度（講座回数：全12回）	46名	227名
平成26年度（講座回数：全12回）	52名	238名
平成27年度（講座回数：全10回）	44名	271名
平成28年度（講座回数：全10回）	38名	196名

平成29年度（講座回数：全10回）	30名	196名
平成30年度（講座回数：全10回）	24名	170名
令和元年度（講座回数：全10回）	28名	194名
令和2年度 ※コロナにより開催中止	—	—
令和3年度（講座回数：全10回）	23名	181名
令和4年度（講座回数：全9回） ※講師欠席の為第10回は開催中止	20名	120名

—出羽三山歴史講座参加人数—

実施年度	申込者数	延べ人数
令和5年度（講座回数：全5回）	38名	190名